

# 続、東通村の魅力を見つけよう ～「地域のお宝」事業のその後～

県教育委員会では平成30年度・令和元年度の2カ年にわたって「地域のお宝」を学び地域活動を担う高校生育成事業を実施しました。東通村実行委員会に参加した田名部高校の生徒が事業を通じて見つけた地域のお宝とは…？  
「若者が頑張ると地域が元気になる」と身をもって体験した生徒は、事業終了後も自分たちの意思で活動を続けています。そんな皆さんに話を聞きました。

## 「地域のお宝」事業って??

県内12市町村の実行委員会において、企業やNPO等の団体、市町村教育委員会等の協力のもと、高校生が身近すぎて気づかないそれぞれの地域の魅力を紹介する「地域のお宝物語」を企画実践し、その成果を発表しました。

## 東通村実行委員会の活動内容

**高校生の参加者**  
東通村在住の田名部高校生17名  
**主な活動内容**  
東通村には「気軽に集まり語り合える場所」がないという課題から高校生カフェ「Re Youth」を企画し、プレオープンさせました。準備期間中は、地元の行事に参加して、活動をPRしました。



アンケート調査&PR活動 高校生カフェ「Re Youth」

事業を通じて見つけた地域のお宝とは…

あれ？私たちの活動にこんなに地域の大人の方々協力してくれる…  
もしかして**地域のお宝**って**私たち**じゃん!!!

## 現在のようす

高校生は、実行委員会の事務局であった「一般社団法人tsumugu」の支援を受けながら活動を続けています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインを活用した活動が中心でしたが、10月上旬から定期的に集まることとし、本格始動に向けて準備を進めています。

### Q (事業1年目から)活動内容は自分たちで決めているの?

A 地域の課題や解決案も自分たちで決めている。

### Q 活動を続けたいと思った理由は?

A 活動中、地域の人たちが声をかけてくれたり、自分たちがやりたいことを実現させてくれて嬉しかったから。

### →自分たちが地域の宝と実感!

自分たちでもっと地域の魅力を発信していく必要があると思ったから。

### Q 高校生カフェの今後の予定は?

A コロナウイルスが落ち着いたらオープンしたい。

### Q 3年生はこれからどのように活動に関わっていくの?

A 自分たちを手伝ってくださっている大学生のように、アドバイスする側として後輩の活動を支援していきたい。卒業をして村を離れても、オンラインや帰省したときには高校生カフェに集まって、つながってほしいと思っています。

### Q 2年生は、先輩から引き継いだあとどのように活動していきたい?

A ツイッターやインスタグラムの更新を先輩方から引き継ぎつつ、自分たちで考えたことも取り入れてバージョンアップしたい。具体的な活動は1、2年生でこれから決めていくが、情報発信を強化して行く予定。



ミーティングで交流を深める様子



## 記者からの一言

生徒は充実感と自信に満ちあふれていました。これからも大人たちを巻き込んで、地域をさらに元気にしていってほしいです。

# おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当(TEL.017-734-9868)までご連絡ください。

## 青森県立郷土館からのお知らせ

### ◆臨時休館に関するお知らせ

青森県立郷土館は、建物の一部について、耐震診断により耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明したことから、来館者の安全確保に万全を期するため、令和2年10月20日(火)から臨時休館しています。本年度事業の今後の予定については、青森県立郷土館のホームページをご覧ください。

### ◆冬休みづくりまわし大会 参加者募集

冬休みに行う子ども向けのイベントです。当館職員が郷土の伝統的な玩具である「づくり」(こま)について解説し、まわし方も教えます。その上でどれだけ長い時間まわせるかを競います。上位入賞者には賞状と賞品もあります。親子での参加も大歓迎です。  
○日時/令和3年1月10日(日) 10:00~12:00  
○場所/青森県総合社会教育センター ○対象/小・中学生(園児の参加も可)  
○定員/20名程度 ○参加料/無料  
○申込み開始/12月14日~(事前申込みが必要)

☎ 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585  
<https://www.kyodokan.com>

## 青森県立図書館からのお知らせ

### ◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせ等や、子どもたちからリクエストされた絵本を紹介します。

○日時/令和2年12月12日(土)、令和3年1月9日(土)、2月13日(土)、3月13日(土) 14:00~14:30

○場所/青森県立図書館4階集会所

### ◆おしえて先生!知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

○日時/令和3年1月23日(土)、2月27日(土) 14:00~14:30  
○場所/青森県立図書館4階集会所

☎ 青森県立図書館 TEL.017-739-4211  
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

## 青森県近代文学館からのお知らせ

### ◆ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展

みなさんは日本三大名探偵を知っていますか? 明智小五郎、金田一耕助、そして神津恭介です。青森市に生まれた高木彬光は、名探偵・神津恭介を生み出しました。展示室には、400冊以上の高木彬光のミステリー作品を展示しています。入場は無料です。来館をお待ちしております。

○開催期間/開催中~令和3年1月11日(月・祝)(12月24日、12月29日~1月3日は休館)

○時間/9:00~17:00  
○場所/青森県近代文学館企画展示室(青森県立図書館2階)

☎ 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575  
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2020.12 Vol.59

令和2年12月発行

編集・発行/青森県教育庁教育政策課  
〒030-8540 青森市長島1丁目1番1号  
TEL.017-734-9868

青森県教育委員会ホームページアドレス → <https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/main.html>

## 令和元年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞作品

やめようよ その一言が 第一歩

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

むつ市立川内小学校  
4年 松尾 叶  
(※受賞当時の学校と学年です)

# 受賞作品が決定しました!

いじめ防止標語コンクール

あおもりの中学生・高校生による  
「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

## いじめ防止標語コンクール

子どもたちをはじめ、広く県民のいじめ防止に向けた意識啓発のため、いじめ防止標語コンクールを実施しました。2年度は、10,346点の応募があり、審査の結果、以下のとおり優秀賞、審査員特別賞が決定しました。今後、優秀賞作品を原案としたテレビCMを制作する予定です。

### 優秀賞

ぼくたちは ほっとかないよ なかまだもん  
(青森市立沖館小学校5年 太田 真輝)

気づこうよ 助け求める 心の声  
(五所川原市立五所川原第三中学校1年 古川 蓮)

えがお100 やさしさ100で いじめ0  
(弘前市立岩木小学校1年 加藤 壮真)

寄り添いは 閉ざした扉を 開くカギ  
(三沢市立岡三沢小学校6年 大久保 琥太)

手を止めて 送信前に 考えよう  
(むつ市立川内中学校3年 鈴木 虹花)

言葉遣い 少しかえれば みな笑顔  
(県立八戸中央高等学校1年 佐藤 瑠星)

### 審査員特別賞

いじめだと 気づいた時こそ 変えられる  
(県立鶴田高等学校1年 西村 安莉)

つくろうよ みんなの個性を 認める輪  
(弘前市立第二中学校2年 三上 佳志乃)

ことばはね ぼくとあなたを つなぐもの  
(県立むつ義塾学校高等部1年 四ツ谷 空翔)

過去に制作したCMはこちらから視聴可能です



## あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

中学生・高校生の皆さんに本に親しんでもらうために、仲間や友達などへのオススメの本の紹介文(200~300字)を募集しました。2年度は、5,072点の応募があり、審査の結果、以下のとおり最優秀賞、優秀賞が決定しました。

### 中学生の部

#### 最優秀賞

「線は、僕を描く」(砥上 裕将/著)  
八戸市立江陽中学校3年 上田 夏希

#### 優秀賞

「カラフル」(森 絵都/著)  
青森市立南中学校3年 西崎 楓

「ハリネズミの願い」(トーン・テレヘン/著 長山 さき/訳)  
外ヶ浜町立三蔵中学校1年 東 璃咲

「西の魔女が死んだ」(梨木 香歩/著)  
深浦町立大戸瀬中学校3年 堀内 美緒

「トラペジウム」(高山 一実/著)  
弘前市立北辰中学校2年 石郷岡 琴音

「生きるヒント2 今日を生きるための12のレッスン」(五木 寛之/著)  
八戸聖ウルスラ学院中学校3年 朝 望美



### 高校生の部

#### 最優秀賞

「老人と海」(ヘミングウェイ/著 高見 浩/訳)  
県立三本木農業高等学校2年 巴 香乃

#### 優秀賞

「罪と罰」(ドストエフスキー/著 工藤 精一郎/訳)  
県立青森高等学校1年 櫻田 藍

「蜘蛛の糸・杜子春」(芥川 龍之介/著)  
県立北斗高等学校3年 木津 怜巳

「ケーキの切れない非行少年たち」(宮口 幸治/著)  
県立青森聖学校高等部2年 三上 真輝

「怠けてるのではなく、充電中です。」(ダンシングスネイル/著)  
県立八戸商業高等学校1年 清水 怜奈

「博士の愛した数式」(小川 洋子/著)  
千葉学園高等学校3年 加藤 夏望



☎ 生涯学習課 企画振興グループ TEL.017-734-9888

## 「ボランティア関係者情報交換会」をオンラインで開催します。

# 高校生の皆さん、若者が参加したいボランティア活動について考えてみませんか?

ボランティア活動に取り組む方やサポートする方、ボランティアに興味がある方など様々な立場、年代の参加者が集まります。今年度のテーマは「若者が参加するボランティア活動とは」です。大学の先生によるお話のほか、オンライン参加者、会場参加者皆さんでの意見交換も予定しています。高校生の皆さん、若者が参加したくなるボランティアって何なのか一緒に考えてみませんか?たくさんの参加を待っています。

## テーマ 若者が参加するボランティア活動とは

※都合に合わせてどちらか1回だけの受講も可能です。

**第1回** 令和2年12月21日(月)  
13:00~15:00 講義・演習  
若者が参加するボランティア活動①

**会場** ①オンライン受信  
②スクリーン上映  
八戸ポータルミュージアムはっち

**講師** 八戸学院大学 健康医療学部 教授 吉田守実氏



**第2回** 令和3年1月7日(木)  
13:00~15:00 講義・演習  
若者が参加するボランティア活動②

**会場** ①オンライン受信  
②スクリーン上映  
フェスティバルシアタウガ

**講師** 岩手県立大学 社会福祉学部 准教授 菅野道生氏



## 受講方法

①オンライン受信 Zoomを使用します。タブレットやスマートフォンから受講できます。  
②スクリーン上映 別会場から発信される映像を会場のスクリーンで見ながら受講できます。

高校生  
スキルアップ  
プログラム  
対象講座

申し込み・詳細は総合社会教育センターホームページをご覧ください。



☎ 青森県総合社会教育センター 教育活動支援課 TEL.017-739-1270 <https://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

# 令和3年4月に『青森県立五所川原工科高等学校』・『青森県立三本木農業恵拓高等学校』が開校します!

県教育委員会では、2つの新たな高校を開校するための準備を進めています。今回はそれぞれの高校の準備状況の一部を紹介します!

## 五所川原工科高等学校

【統合対象校:金木高等学校、板柳高等学校、鶴田高等学校、五所川原工業高等学校】

### 学科・募集人員(令和3年度)

**普通科:2学級70人**  
 ■探究型学習等により、一人一人の個性を伸ばし、確かな学力を育てます。また、大学入試制度改革に対応し、高い進路目標を達成できる学力を育てます。



**電子機械科:1学級35人**  
 ■ロボット制御等を実現するためのコンピュータ制御技術、プログラミング技術、IOT等の情報分野等について学習し、社会の発展に貢献できるスペシャリストを育成します。



○五所川原工業高等学校の情報技術科を電子機械科に統合しました。

**機械科:1学級35人**  
 ■各種工作機械の操作や、ものづくりのための設計等に関する実習や座学を通して、専門の知識・技能を身につけ、社会の広い分野で活躍できるスペシャリストを育成します。



**電気科:1学級35人**  
 ■発電から送配電に必要な知識・技術等を身につけ、国家資格取得を目指すとともに、ものづくりに必要な豊かな創造力や力強い人間性を併せ持つ電気技術者を育成します。



### 校訓・学校標語

校訓  
**誠実 創造 礼節**

### 学校標語:無限の可能

自分が求めさえすれば、求めるものは無限にあり、それを獲得することで自分自身を高めることができる「さらなる成長」を意味する。

### 校章

学校標語である「無限の可能」を図案化し組み合わせることで4校の統合を象徴しています。縦横に広がる「無限の可能」は、学ぶ生徒の無限の可能性を表したデザインとなっています。



### 校歌

五所川原市出身で日本を代表するシンガーソングライターである吉幾三さんが作詞・作曲をしてくださいました。

### 部活動

#### 運動部

- ◇硬式野球 ◇陸上競技 ◇テニス ◇サッカー
- ◇少林寺拳法 ◇卓球 ◇バスケットボール
- ◇バレーボール ◇ウエイトリフティング ◇弓道
- ◇バドミントン ◇ボクシング

#### 文化部

- ◇美術 ◇写真 ◇吹奏楽

#### 同好会

- ◇水泳 ◇機械 ◇電子機械 ◇電気
- ◇探究 ◇インターアクト ◇メカトロ
- ◇マンガイラスト

※入学者の希望状況により新しい部や同好会を設置することもあります。  
 ※R3・R4年度は、五所川原工業高等学校と合同チームで大会に参加します。

### 制服

#### 夏服(軽装)



#### 冬服



※正装は、男女ネクタイ。女子はリボンも可。

### 五所川原工科高等学校に関する情報

■ホームページ <http://www.goshogawara-it.asn.ed.jp/>

☎ 西北地区統合校開設準備室(五所川原工業高等学校内) TEL.0173-35-3444  
 高等学校教育改革推進室 TEL.017-734-9866



■所在地:五所川原市大字湊字船越192  
 (現在の五所川原工業高等学校の校舎)  
 ■アクセス:JR「五所川原駅」より徒歩25分  
 弘南バス「五所川原営業所」より徒歩1分

## 三本木農業恵拓高等学校

【統合対象校:十和田西高等学校、六戸高等学校、三本木農業高等学校】

### 学科・募集人員(令和3年度)

**普通科:2学級70人** 【文理総合コース、地域・観光コース】  
 ■国数英等の普通教科を幅広くかつ深く学ぶほか、興味・関心、進路志向等に応じて農業や観光に関する科目等を学習するとともに、本校や地域の強みを活かして体験的・協働的に学ぶことにより、進んで学ぶ力や、課題を発見し解決する力を身につけます。

**植物科学科:1学級35人**  
 【農業経営コース、施設園芸コース】

■作物の生理生態、栽培と生産に関する学習を通して、地域における植物の栽培、経営のプロフェッショナルを育成します。

### 志岳寮

■文部科学省による「農業経営者育成高等学校」の指定を受け、植物科学科と動物科学科の1年生は全員入寮します。定員の空き状況に応じて、普通科を含む他の学科の生徒も入寮することができます。

**動物科学科:1学級35人**  
 【産業動物コース、社会動物コース】

■畜産動物と社会動物の生理生態、飼養と活用に関する学習を通して、地域における動物の飼育・経営・活用のプロフェッショナルを育成します。

**環境工学科:1学級35人**

■機械操作や整備、生産基盤と環境保全に関する学習を通して、環境創造と機械技術のプロフェッショナルを育成します。  
 ○三本木農業高等学校の農業機械科と環境土木科を統合し環境工学科を新設しました。



**食品科学科:1学級35人**

■食品の加工や流通及び衛生管理に関する学習を通して、農畜産物の可能性をひきだし、食品の価値を高めるプロフェッショナルを育成します。  
 ○三本木農業高等学校の農業経済科を食品科学科へ改編しました。

### 三本木農業恵拓高等学校に関する情報

■ホームページ <http://www.sanbongi-ah.asn.ed.jp/> ■Twitter @kttk\_sb

☎ 上北地区統合校開設準備室(三本木農業高等学校内) TEL.0176-23-5351  
 高等学校教育改革推進室 TEL.017-734-9866



■所在地:十和田市大字相坂字高清水78-92  
 (現在の三本木農業高等学校の校舎)  
 ■アクセス:東北新幹線「七戸十和田駅」より車で20分  
 十和田観光電鉄バス「三農校前」より徒歩1分

### 校是・校訓

校是:**未来拓創(みらいたくそう)**

本校での学びを通して、未来に向かって自らの道を拓き、創っていくことが、地域を拓き、創ることにつながる

校訓  
**自主 創造 敬愛**

### 校章

稲穂は農業を、クローバーの3枚並ぶ形が3校の統合を表すと解釈し、稲穂とクローバーをモチーフとしたデザインとなっています。



### 部活動

#### 運動部

- ◇陸上競技 ◇柔道 ◇馬術
- ◇相撲 ◇バレーボール ◇卓球
- ◇バスケットボール ◇サッカー
- ◇バドミントン ◇ソフトテニス
- ◇アーチェリー ◇ラグビー
- ◇硬式野球 ◇剣道 ◇ソフトボール

#### 文化部

- ◇吹奏楽 ◇写真 ◇手芸 ◇華道
- ◇赤十字 ◇書道 ◇放送

#### 同好会

- ◇インターアクト
- ◇女子サッカー ◇愛玩動物

※十和田西高等学校または六戸高等学校のみに設置されていた部活動を希望する場合は、その都度対応します。また、名称は変更になることもあります。

### 制服

#### 夏服



#### 冬服



※女子はダブルブリーツの斬新なスカートで、スラックスも選べます。

## 高等学校教育改革第2期実施計画策定に向けた地区意見交換会を開催しています。

### 地区意見交換会の目的

本年8月に改定した基本方針を踏まえ、各地区の学校規模・配置等に関する意見交換を行うことにより、令和3年度に予定している第2期実施計画を策定する際の参考とする。

### 委員・オブザーバー構成

- 【委員】
- 市町村教育委員会教育長 ●小・中学校長
  - PTA代表 ●産業界代表 ●私立高校長 等
- 【オブザーバー】
- 各県立高校長 ●関係特別支援学校長

### 開催スケジュール

- 令和2年 9月 第1回地区意見交換会
  - 令和2年12月 第2回地区意見交換会
  - 令和3年 2月 第3回地区意見交換会(予定)
- ※地区意見交換会はどなたでも傍聴可能ですが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、延期する場合がありますので、ホームページをご確認ください。

### 意見交換内容

- 重点校・拠点校・地域校の配置 ●定時制・通信制課程の学校配置
- 高校教育を受ける機会の確保と充実した教育環境の整備の2つの観点から検討した学校配置
- 各学校配置シミュレーションにおける効果・課題
- 多様な教育制度の導入(全国からの生徒募集の導入効果・課題) 等

ホームページには地区意見交換会の概要を掲載しています。ご意見・ご要望をお持ちしています。

【ご意見等の宛先】  
 〒030-8540 青森市長島1-1-1 高等学校教育改革推進室  
 TEL:017-734-9866 FAX:017-734-8003  
 E-mail:E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp  
 URL:<https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kenritukoutougakkoukyouikukaikaku.html>



## 大学奨学生募集 ~充実した大学生活を送ろう~

**申込資格** 令和3年4月に大学入学見込みの方で、保護者が青森県民であり、他から奨学金の貸与予定がない方(併願はできませんが、併給はできません。)

**募集人員** 90人

**申込方法** 県内の各高校又は各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに、令和3年3月に高校を卒業予定の方は学校が指定する期日までに同校へ、それ以外の方は令和3年3月31日までに青森県育英奨学会へ提出してください。

**貸与月額及び貸与期間** 月額44,000円 4年間(医学科等は6年間)

**返還** 無利子で、貸与終了後1年据置き、8年間で全額返還

貸与総額 (4年間貸与)	返還 年数	月賦の場合		半年賦の場合		年賦の場合	
		金額	回数	金額	回数	金額	回数
2,112,000円	8年	22,000円	96回	132,000円	16回	264,000円	8回



## 青森県学生寮入寮生募集 ~東京で経済的な負担が少なく修学できます~

**入寮資格** 保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学、専修学校等に在学しているか、令和3年4月に入学見込みの男子学生

**部屋** 個室で、ベッド、机、エアコン等が備え付けてあります。



**経費** 入寮費 年額3万円  
 寮費 月額3万円  
 食費 1食450円(平日の夕食のみ)  
 電気料金 実費(上・下水道料金無料)  
 インターネット 月額1,700円

**場所** 東京都小平市鈴木町1丁目103の1

**募集人員** 約50人  
**募集期間** 令和2年12月1日(火)~令和3年3月29日(月)



**申込方法** 県内の各高校及び各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに青森県育英奨学会へ提出してください。(大学等の合否決定前に出願できます。)